

～『みんなで残したい松江の景観400選集』から景観審議会が特にお薦めする景観～

— No.123 美保関灯台 —

「島根半島東端に位置する白亜の美保関灯台は、歴史を感じさせ、落ち着いた雰囲気です。紺碧こんぺきの日本海と隠岐航路を行き交うフェリーの風景とよく合います」と推薦していただきました。

美保関灯台は、1898（明治31）年に建てられた山陰地方最古の石造灯台で「世界の歴史的灯台100選」や「日本の灯台50選」に選ばれ、2007（平成19）年に国の登録有形文化財に指定されました。09（平成21）年には、日本の産業の近代化に貢献した建造物などが認定される「近代化産業遺産」にも選ばれています。

また、灯台に隣接した石造りの建物は灯台職員の官舎であったもので、こちらも登録有形文化財に指定され、現在はカフェ（美保関灯台ビュッフェ）として活用されています。

赤い屋根と白い建物が、青い空や日本海に映えている風景は訪れる人に感動を与えます。空気が澄んだ晴れた日には隠岐諸島や大山を望むこともでき、一層印象深い場所となります。天気の様子を見ながら、少し足を延ばしてみませんか。



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。
【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索